

国 語
-----

## 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称	発行者	教科書名
2	東 書	新編 新しい国語
11	学 図	中学校国語
15	三 省 堂	現代の国語
17	教 出	伝え合う言葉 中学国語
38	光 村	国語

## 2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

	観点	視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 単元・教材の目標の示し方	目標の示し方
		② 基礎的な言語の定着	新出漢字の示し方, 重要語句の示し方, 言語・漢字・文法の扱い
		③ 伝統的な言語文化に関する内容の記述	伝統的な言語文化に関する単元の数, 単元名・教材名, 単元の中で取り上げられている古典作品
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④ 興味・関心を高めるための工夫	実生活とつながりのある事柄を取り上げた単元名・教材名, 目標, 学習活動
		⑤ 問題解決的な学習を実施するための工夫	単元名・教材名, 目標, 学習過程, 意見文の例
		⑥ 見通しを立てたり, 振り返ったりする学習のための活動の工夫	単元名・教材名, 目標, 学習過程, 見通しを立てさせるための資料等
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑦ 単元・教材等の配列	配列の特徴, 総単元数, 三領域一事項ごとのページ数
		⑧ 発展的な学習に関する内容の記述	発展的な学習の示し方, 種類, 教材名, 教材数, ページ数
(エ)	内容の表現・表記	⑨ 巻末資料の示し方	巻末資料の示し方と内容及びページ数
		⑩ 本文記述との関連付けがなされた図表等	文章の内容理解に関連した図表等の挿入がある教材名, ページ数, 目標, 図表等の種類
(オ)	言語活動の充実	⑪ 読書と情報活用	読書に関わる内容及び紹介されている書籍数等, 情報活用に関わる内容
		⑫ 言語活動の種類	学習指導要領に示された言語活動例に関わる内容の記述

【国語】

<b>観点</b>	(ア) 基礎・基本の定着
<b>視点</b>	①単元・教材の目標の示し方
<b>方法</b>	目標の示し方

	目標の示し方	第2学年 教材名「走れメロス」における目標の示し方
東 書	☆ 単元の扉に単元の目標を単元名として示している。 □ 教材の冒頭ページと、終わりの「てびき」の部分に目標を示している。	6 描写を味わう 「走れメロス」
		☆ 描写を味わう □ 人物や情景の効果的な描写に着目して、作品を読み深める。 □ 場面の展開や表現の仕方について、自分の考えをまとめる。
学 図	☆ 単元の扉に単元名と単元の目標を示している。 □ 教材の冒頭ページと、終わりの「学びの窓」の部分に目標を示している。	3 群像 一発見と行動 「走れメロス」
		☆ 言葉を吟味して人間の内面と行動について考えよう。 □ 信頼関係の動揺について考える。 □ 視点を変えて出来事や心情を捉える。
三省堂	☆ 単元の扉に単元の目標を単元名として示している。 □ 教材の冒頭ページと、終わりの「学びの道しるべ」の部分に目標を示している。	5 読みを深め合う 「走れメロス」
		☆ 読みを深め合う □ 場面ごとのできごとを手がかりとして、作品の構成の特徴について考えをまとめる。 □ 登場人物の言動の意味を捉え、それぞれの人物の考え方について読み深める。
教 出	☆ 単元の扉に単元名と単元の目標を示している。 □ 教材の冒頭ページと、終わりの「みちしるべ」の部分に目標を示している。	8 考えを交流する 「走れメロス」
		☆ 多様に読める文章から自分の考えをもち、周りの人と交流する。 □ 登場人物や語り手のものの見方や考え方についての理解を深め、自分の考えをもつ。 □ 描写や人称の使い分けなどに着目し、人物像や心情を表すうえでの役割や効果を捉える。
光 村	☆ 単元の扉に単元名と単元の目標を示している。 □ 教材の冒頭ページと、終わりに目標を示している。	7 表現を見つめて 「走れメロス」
		☆ 多様な表現に触れ、自分の経験と重ねながら理解を深める。 □ 描写や会話に着目して人物像の変化を捉え、作品を読み味わう。 □ 作品を読み、登場人物の行動や考え方について、自分の考えをもつ。

(注) ☆は単元の目標を表し、□は目標を表す。

【国語】

<b>観点</b>	(ア) 基礎・基本の定着
<b>視点</b>	② 基礎的な言語の定着
<b>方法</b>	新出漢字の示し方, 重要語句の示し方, 言語・漢字・文法の扱い

		第1学年							
		新出漢字の数及び脚注等への示し方	重要語句の脚注への示し方とその数			言語 (ページ数)	漢字 (ページ数)	文法 (ページ数)	
東 書		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 377字</li> <li>○ 脚注に行数, 音訓, 用例を示している。</li> <li>○ 巻末に「新出漢字一覧」として, ページ数, 音訓, 部首, 画数, 筆順, 用例を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 意味や用法を理解しておきたい語句をマークとともに示している。</li> </ul>	マーク	マークの意味	数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本語探検                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声の働きや仕組み (1)</li> <li>・つなぐ言葉・指し示す言葉 (3)</li> <li>・語の意味と文脈・多義語 (2)</li> </ul> </li> <li>○ 資料編                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉を広げよう (4)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 漢字道場                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・活字と書き文字・画数・筆順 (2)</li> <li>・音読み・訓読み (2)</li> <li>・漢字の部首 (2)</li> <li>・漢字の成り立ち (2)</li> </ul> </li> <li>○ 資料編                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・常用漢字表 (12)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文法の窓                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・文法とは・言葉の単位 (1)</li> <li>・文の成分・連文節 (1)</li> <li>・単語の分類 (1)</li> <li>・名詞 (1)</li> <li>・連体詞・副詞・接続詞・感動詞 (1)</li> </ul> </li> <li>○ 基礎編                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・文法とは・言葉の単位 (3)</li> <li>・文の成分・連文節 (5)</li> <li>・単語の分類 (4)</li> <li>・名詞 (2)</li> <li>・連体詞・副詞・接続詞・感動詞 (3)</li> </ul> </li> </ul>
				意	意味を調べよう。	55			
				文	短文を作ろう。	23			
				類	似た意味の言葉(類義語)を挙げよう。	36			
				対	反対の意味の言葉(対義語)を挙げよう。	9			
学 図		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 403字</li> <li>○ 脚注に行数と本文中の読みを示している。</li> <li>○ 教材末にページ数, 音訓, 用例を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 意味や用法を理解しておきたい語句をマークとともに示している。</li> </ul>	マーク	マークの意味	数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 言葉と生活・言葉と文化                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・発音と表記 (4)</li> </ul> </li> <li>○ 言語の学習・一年生の語句・語彙の学習                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・語の意味 (4)</li> <li>・語の分類 (2)</li> <li>・和語・漢語・外来語 (2)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 漢字を見抜く                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の成り立ち (4)</li> <li>・声符による漢字の読み (4)</li> <li>・部首による漢字の意味 (4)</li> <li>・漢字の書体 (4)</li> <li>・旧字体と新字体・簡易慣用字体 (4)</li> </ul> </li> <li>○ 言語の学習                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・注意すべき筆順 (1)</li> <li>・常用漢字表 (17)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文法の学習                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・文節他 (1)</li> <li>・品詞分類 (1)</li> <li>・名詞・代名詞 (1)</li> <li>・副詞・連体詞 (1)</li> <li>・指示語 (1)</li> <li>・接続詞・感動詞 (1)</li> </ul> </li> <li>○ 言語の学習・一年生の文法の学習                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章・段落・文・文節・単語, 文節と文節の関係, 連文節, 自立語・付属語・活用 (3)</li> <li>・品詞分類の仕方 (1)</li> <li>・名詞・代名詞 (1)</li> <li>・副詞・連体詞 (1)</li> <li>・接続詞・感動詞 (1)</li> <li>・口語・文語活用対照表(折込)</li> </ul> </li> </ul>
				意	意味を調べたり, 語の構成を捉えたりする	63			
				文	短文を作る	22			
				類	類義語を調べる	9			
				対	対義語を調べる	2			

【国語】

三省堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 392 字</li> <li>○ 脚注に行数と本文中の読みを示している。</li> <li>○ 教材末にページ数、音訓、用例を示している。</li> <li>○ 巻末に「一年生で学ぶ漢字字典」としてページ数、音訓、部首、画数、筆順、用例を示している。</li> </ul>	○ 意味や用法を理解しておきたい語句をマークとともに示している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ことば発見                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声のしくみとはたらき (3)</li> <li>・話しことばと書きことば (2)</li> <li>・接続する語句・指示する語句 (2)</li> </ul> </li> <li>・比喩・倒置・反復・対句 (3)</li> <li>○ 学習用語辞典 (6)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 漢字のしくみ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・活字と手書き文字・画数・筆順 (2)</li> <li>・部首と成り立ち (2)</li> <li>・漢字の音と訓 (2)</li> <li>・漢字を身につけよう (9)</li> </ul> </li> <li>○ 資料編                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校六年生で学習した漢字 (1)</li> <li>・常用漢字表音訓一覧 (14)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文法のまど                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ことばの単位・文節の関係 (1)</li> <li>・単語の類別・品詞 (1)</li> </ul> </li> <li>○ 文法のまとめ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ことばの単位・文節の関係・連文節・文の成分 (5)</li> <li>・単語の類別・品詞 (2)</li> <li>・名詞 (1)</li> <li>・副詞・連体詞・接続詞・感動詞 (3)</li> </ul> </li> </ul>																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>マーク</th> <th>マークの意味</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>意</td> <td>辞書で意味を調べる</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>短</td> <td>短文を作る</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>類</td> <td>類義語を調べる</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>対</td> <td>対義語を調べる</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>				マーク	マークの意味	数	意	辞書で意味を調べる	65	短	短文を作る	8	類	類義語を調べる	6	対	対義語を調べる	4			
		マーク				マークの意味	数																
		意				辞書で意味を調べる	65																
		短				短文を作る	8																
類	類義語を調べる	6																					
対	対義語を調べる	4																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>マーク</th> <th>マークの意味</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>意</td> <td>調べたり考えたりして意味を理解する。</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>文</td> <td>短文を作って表現に生かす。</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>同</td> <td>同じ音をもつ語句を調べる。</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>対</td> <td>反対や対比の意味をもつ語句を調べる。</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>類</td> <td>似た意味をもつ語句を調べる。</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table>	マーク	マークの意味	数	意	調べたり考えたりして意味を理解する。	57	文	短文を作って表現に生かす。	31	同	同じ音をもつ語句を調べる。	3	対	反対や対比の意味をもつ語句を調べる。	3	類	似た意味をもつ語句を調べる。	11					
マーク	マークの意味	数																					
意	調べたり考えたりして意味を理解する。	57																					
文	短文を作って表現に生かす。	31																					
同	同じ音をもつ語句を調べる。	3																					
対	反対や対比の意味をもつ語句を調べる。	3																					
類	似た意味をもつ語句を調べる。	11																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>マーク</th> <th>マークの意味</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>意</td> <td>意味を調べる。</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>文</td> <td>短文を作る。</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>類</td> <td>類義語を調べる。</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>対</td> <td>対義語を調べる。</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>関</td> <td>関連語句を確認する。</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	マーク	マークの意味	数	意	意味を調べる。	46	文	短文を作る。	23	類	類義語を調べる。	3	対	対義語を調べる。	3	関	関連語句を確認する。	5					
マーク	マークの意味	数																					
意	意味を調べる。	46																					
文	短文を作る。	23																					
類	類義語を調べる。	3																					
対	対義語を調べる。	3																					
関	関連語句を確認する。	5																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>マーク</th> <th>マークの意味</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>意</td> <td>意味を調べる。</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>文</td> <td>短文を作る。</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>類</td> <td>類義語を調べる。</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>対</td> <td>対義語を調べる。</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>関</td> <td>関連語句を確認する。</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	マーク	マークの意味	数	意	意味を調べる。	46	文	短文を作る。	23	類	類義語を調べる。	3	対	対義語を調べる。	3	関	関連語句を確認する。	5					
マーク	マークの意味	数																					
意	意味を調べる。	46																					
文	短文を作る。	23																					
類	類義語を調べる。	3																					
対	対義語を調べる。	3																					
関	関連語句を確認する。	5																					
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 400 字</li> <li>○ 新出漢字には、本文中にルビが振ってある。</li> <li>○ 新出漢字が出てくる行の真下の脚注に漢字のみを示している。</li> <li>○ 教材末にページ数、音訓、用例を示している。</li> <li>○ 巻末に「一年生で学習した漢字」としてページ数、音訓、部首、画数、筆順、用例を示している。</li> </ul>	○ 意味や用法を理解しておきたい語句をマークとともに示している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 言語の小窓                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語の音声 (1)</li> <li>・日本語の文字 (1)</li> </ul> </li> <li>○ 言葉と文法解説編                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語の音声 (4)</li> <li>・日本語の文字 (5)</li> </ul> </li> <li>○ 言葉の自習室                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語辞典と漢和辞典 (1)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 漢字の広場                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の部首 (2)</li> <li>・画数と活字の字体 (2)</li> <li>・漢字の音と訓 (2)</li> <li>・熟語の構成 (2)</li> <li>・漢字の練習 (4)</li> </ul> </li> <li>○ 漢字 資料編                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校六年生で学習した漢字 (5)</li> <li>・常用漢字表 (15)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文法の小窓                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の単位 (1)</li> <li>・文の成分 (1)</li> <li>・単語のいろいろ (1)</li> </ul> </li> <li>○ 言葉と文法解説編                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の単位 (3)</li> <li>・文の成分 (8)</li> <li>・単語のいろいろ (6)</li> </ul> </li> </ul>																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>マーク</th> <th>マークの意味</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>意</td> <td>調べたり考えたりして意味を理解する。</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>文</td> <td>短文を作って表現に生かす。</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>同</td> <td>同じ音をもつ語句を調べる。</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>対</td> <td>反対や対比の意味をもつ語句を調べる。</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>類</td> <td>似た意味をもつ語句を調べる。</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table>				マーク	マークの意味	数	意	調べたり考えたりして意味を理解する。	57	文	短文を作って表現に生かす。	31	同	同じ音をもつ語句を調べる。	3	対	反対や対比の意味をもつ語句を調べる。	3	類	似た意味をもつ語句を調べる。	11
		マーク				マークの意味	数																
		意				調べたり考えたりして意味を理解する。	57																
		文				短文を作って表現に生かす。	31																
同	同じ音をもつ語句を調べる。	3																					
対	反対や対比の意味をもつ語句を調べる。	3																					
類	似た意味をもつ語句を調べる。	11																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>マーク</th> <th>マークの意味</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>意</td> <td>意味を調べる。</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>文</td> <td>短文を作る。</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>類</td> <td>類義語を調べる。</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>対</td> <td>対義語を調べる。</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>関</td> <td>関連語句を確認する。</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	マーク	マークの意味	数	意	意味を調べる。	46	文	短文を作る。	23	類	類義語を調べる。	3	対	対義語を調べる。	3	関	関連語句を確認する。	5					
マーク	マークの意味	数																					
意	意味を調べる。	46																					
文	短文を作る。	23																					
類	類義語を調べる。	3																					
対	対義語を調べる。	3																					
関	関連語句を確認する。	5																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>マーク</th> <th>マークの意味</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>意</td> <td>意味を調べる。</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>文</td> <td>短文を作る。</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>類</td> <td>類義語を調べる。</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>対</td> <td>対義語を調べる。</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>関</td> <td>関連語句を確認する。</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	マーク	マークの意味	数	意	意味を調べる。	46	文	短文を作る。	23	類	類義語を調べる。	3	対	対義語を調べる。	3	関	関連語句を確認する。	5					
マーク	マークの意味	数																					
意	意味を調べる。	46																					
文	短文を作る。	23																					
類	類義語を調べる。	3																					
対	対義語を調べる。	3																					
関	関連語句を確認する。	5																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>マーク</th> <th>マークの意味</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>意</td> <td>意味を調べる。</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>文</td> <td>短文を作る。</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>類</td> <td>類義語を調べる。</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>対</td> <td>対義語を調べる。</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>関</td> <td>関連語句を確認する。</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	マーク	マークの意味	数	意	意味を調べる。	46	文	短文を作る。	23	類	類義語を調べる。	3	対	対義語を調べる。	3	関	関連語句を確認する。	5					
マーク	マークの意味	数																					
意	意味を調べる。	46																					
文	短文を作る。	23																					
類	類義語を調べる。	3																					
対	対義語を調べる。	3																					
関	関連語句を確認する。	5																					
光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 381 字</li> <li>○ 脚注に行数、本文中での読みを示している。</li> <li>○ 教材末にページ数、音訓、用例を示している。</li> <li>○ 巻末に「一年生で学習した漢字」としてページ数、音訓、部首、画数、筆順、用例を示している。</li> </ul>	○ 意味や用法を理解しておきたい語句をマークとともに示している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 言葉                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・声を届ける (2)</li> <li>・話し言葉と書き言葉 (2)</li> <li>・言葉を集めよう (1)</li> <li>・指示する語句と接続する語句 (3)</li> <li>・さまざまな表現技法 (3)</li> </ul> </li> <li>○ 資料                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・敬語を使う (1)</li> <li>・書体の特徴 (1)</li> <li>・感想を表す言葉 (1)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 漢字                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の組み立てと部首 (2)</li> <li>・漢字の音訓 (2)</li> <li>・漢字の成り立ち (2)</li> </ul> </li> <li>○ 漢字の練習                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校六年生で学習した漢字 (4)</li> <li>・小学校六年生で学習した漢字一覧 (2)</li> </ul> </li> <li>○ 付録                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・常用漢字表 (15)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文法への扉                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉のまとまりを考えよう (1)</li> <li>・言葉の関係を考えよう (1)</li> <li>・単語の性質を見つけよう (1)</li> </ul> </li> <li>○ 文法                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の単位 (4)</li> <li>・文の組み立て (5)</li> <li>・単語の分類 (4)</li> </ul> </li> </ul>																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>マーク</th> <th>マークの意味</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>意</td> <td>意味を調べる。</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>文</td> <td>短文を作る。</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>類</td> <td>類義語を調べる。</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>対</td> <td>対義語を調べる。</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>関</td> <td>関連語句を確認する。</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>				マーク	マークの意味	数	意	意味を調べる。	46	文	短文を作る。	23	類	類義語を調べる。	3	対	対義語を調べる。	3	関	関連語句を確認する。	5
		マーク				マークの意味	数																
		意				意味を調べる。	46																
		文				短文を作る。	23																
類	類義語を調べる。	3																					
対	対義語を調べる。	3																					
関	関連語句を確認する。	5																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>マーク</th> <th>マークの意味</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>意</td> <td>意味を調べる。</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>文</td> <td>短文を作る。</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>類</td> <td>類義語を調べる。</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>対</td> <td>対義語を調べる。</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>関</td> <td>関連語句を確認する。</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	マーク	マークの意味	数	意	意味を調べる。	46	文	短文を作る。	23	類	類義語を調べる。	3	対	対義語を調べる。	3	関	関連語句を確認する。	5					
マーク	マークの意味	数																					
意	意味を調べる。	46																					
文	短文を作る。	23																					
類	類義語を調べる。	3																					
対	対義語を調べる。	3																					
関	関連語句を確認する。	5																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>マーク</th> <th>マークの意味</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>意</td> <td>意味を調べる。</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>文</td> <td>短文を作る。</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>類</td> <td>類義語を調べる。</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>対</td> <td>対義語を調べる。</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>関</td> <td>関連語句を確認する。</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	マーク	マークの意味	数	意	意味を調べる。	46	文	短文を作る。	23	類	類義語を調べる。	3	対	対義語を調べる。	3	関	関連語句を確認する。	5					
マーク	マークの意味	数																					
意	意味を調べる。	46																					
文	短文を作る。	23																					
類	類義語を調べる。	3																					
対	対義語を調べる。	3																					
関	関連語句を確認する。	5																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>マーク</th> <th>マークの意味</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>意</td> <td>意味を調べる。</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>文</td> <td>短文を作る。</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>類</td> <td>類義語を調べる。</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>対</td> <td>対義語を調べる。</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>関</td> <td>関連語句を確認する。</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	マーク	マークの意味	数	意	意味を調べる。	46	文	短文を作る。	23	類	類義語を調べる。	3	対	対義語を調べる。	3	関	関連語句を確認する。	5					
マーク	マークの意味	数																					
意	意味を調べる。	46																					
文	短文を作る。	23																					
類	類義語を調べる。	3																					
対	対義語を調べる。	3																					
関	関連語句を確認する。	5																					

【国語】

<b>観点</b>	(ア) 基礎・基本の定着
<b>視点</b>	③伝統的な言語文化に関する内容の記述
<b>方法</b>	伝統的な言語文化に関する単元の数, 単元名・教材名, 単元の中で取り上げられている古典作品

	学年	単元の数 (ページ数)	単元名・教材名	単元の中で取り上げられている古典作品
東書	1	1 (25)	○ 伝統文化に触れる ・ 古典の世界 ・ 伊曾保物語 ・ 竹取物語 ・ 矛盾	『源氏物語』『枕草子』『徒然草』 『伊曾保物語』『犬と肉のこと』『鳩と蟻のこと』 『竹取物語』 『韓非子』『矛盾』
	2	1 (29)	○ 伝統文化を楽しむ ・ 枕草子・徒然草 ・ 平家物語 ・ 漢詩	『枕草子』『第一段』『九月ばかり』 『徒然草』『序段』『仁和寺にある法師』 『平家物語』『祇園精舎』『那須与一』 『黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る』 『春望』
	3	1 (23)	○ 伝統文化に親しむ ・ 万葉・古今・新古今 ・ おくのほそ道 ・ 論語	『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』 『おくのほそ道』 『論語』
学図	1	1 (31)	○ 伝統 一時を超えて ・ 言葉の向こうに ・ 姫の物語? 翁の物語?—竹取物語 ・ とらわれた心に突き立つ矢—宇治拾遺物語 ・ 故事成語 ・ 絵巻を読む	『徒然草』 『竹取物語』  『宇治拾遺物語』  『孟子』『五十歩百歩』、『韓非子』『矛盾』 『伴大納言絵詞』『竹取物語絵巻』
	2	1 (27)	○ 伝統 一時の中で ・ 言葉の力 ・ 源平争乱の歴史語り—平家物語 ・ 人の世と人の心のスケッチ—徒然草 ・ 論語 ・ 古典芸能に見られる古典解釈	『古今和歌集 仮名序』 『平家物語』『祇園精舎』『敦盛の最期』 『徒然草』『高名の木登り』『猫また』『序段』  『論語』 『平家物語』
	3	1 (44)	○ 伝統 一今に向かって ・ 言葉との出会い ・ 歌の源流—万葉集・古今和歌集・新古今和歌集 ・ 発見する言葉—枕草子 ・ 漢詩  ・ 言葉が見た風景—おくのほそ道 ・ 異界を捉える言葉—遠野物語 ・ 先人の達成と共に—本歌取りなど	『百人一首』 『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』  『枕草子』『春はあけぼの』『うつくしきもの』 『香炉峰の雪』 『春望』『元二の安西に使ひするを送る』『静夜の思ひ』 『おくのほそ道』 『遠野物語』 『長恨歌』
三省堂	1	1 (23)	○ 古典に学ぶ ・ 月を思う心 ・ 竹取物語 ・ 古典の仮名遣い ・ 故事成語—矛盾 ・ 漢文の読み方	『竹取物語』  『韓非子』『矛盾』
	2	1 (31)	○ 古典に学ぶ ・ 枕草子・徒然草  ・ 平家物語 ・ 物語の転換点 ・ あの人の歌 ・ 漢詩の世界  ・ 漢詩の形式	『枕草子』『第一段』『第一百四十五段』 『徒然草』『序段』『第五十二段』『第九十二段』 『平家物語』『祇園精舎』『敦盛の最期』  『春暁』『黄鶴楼にて、孟浩然の広陵に之くを送る』 『春望』 『絶句』

【国語】

	3	1 (25)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 古典に学ぶ</li> <li>・和歌の世界—万葉集・古今和歌集・新古今和歌集</li> <li>・コミュニケーションツールとしての歌</li> <li>・おくのほそ道</li> <li>・論語</li> <li>・漢文の読み方</li> </ul>	<p>『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』</p> <p>『おくのほそ道』 『論語』</p>
教出	1	1 (21)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 古典と出会う</li> <li>・古典の扉を開く—一百年後、千年後の友人であるあなたへ—</li> <li>・物語の始まり—竹取物語—</li> <li>・故事成語—中国の名言—</li> </ul>	<p>「川柳」『東海道中膝栗毛』『南総里見八犬伝』</p> <p>『竹取物語』 『韓非子』「矛盾」</p>
	2	1 (25)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 伝統を見いだす</li> <li>・敦盛の最期—平家物語—</li> <li>・随筆の味わい—枕草子・徒然草—</li> <li>・二千五百年前からのメッセージ—孔子の言葉—</li> </ul>	<p>『平家物語』「祇園精舎」「敦盛の最期」 『枕草子』「春はあけぼの」「うつくしきもの」 『徒然草』「序段」「仁和寺にある法師」「ある人、弓射ることを習ふに」 『論語』</p>
	3	1 (27)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文化をつなぐ</li> <li>・旅への思い—芭蕉と『おくのほそ道』—</li> <li>・和歌の調べ—万葉集・古今和歌集・新古今和歌集—</li> <li>・和歌の鑑賞文を書く</li> <li>・風景と心情—漢詩を味わう—</li> </ul>	<p>『おくのほそ道』</p> <p>『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』</p> <p>『黄鶴楼にて、孟浩然の広陵に之くを送る』『春暁』『春望』「翠岑を下る」</p>
光村	1	1 (24)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いにしえの心に触れる</li> <li>・いろは歌</li> <li>・月に思う</li> <li>・蓬萊の玉の枝—「竹取物語」から</li> <li>・今に生きる言葉</li> <li>・故事成語を使って体験文を書こう</li> </ul>	<p>『いろは歌』 『竹取物語』『徒然草』『百人一首』 『竹取物語』「蓬萊の玉の枝」</p> <p>『韓非子』「矛盾」 「漁夫の利」</p>
	2	2 (24)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広がる学びへ</li> <li>・枕草子</li> <li>○ いにしえの心を訪ねる</li> <li>・音読を楽しもう—平家物語</li> <li>・扇の的—「平家物語」から</li> <li>・仁和寺にある法師—「徒然草」から</li> <li>・漢詩の風景</li> </ul>	<p>『枕草子』</p> <p>『平家物語』「祇園精舎」 『平家物語』「扇の的」 『徒然草』「序段」「第五十二段」</p> <p>『春暁』『絶句』『黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る』『春望』</p>
	3	2 (27)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 深まる学びへ</li> <li>・学びて時にこれを習ふ—「論語」から</li> <li>○ いにしえの心と語らう</li> <li>・古今和歌集—仮名序</li> <li>・君待つと—万葉・古今・新古今</li> <li>・夏草—「おくのほそ道」から</li> <li>・古典を心の中に</li> </ul>	<p>『論語』</p> <p>『古今和歌集』「仮名序」 『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』 『おくのほそ道』</p>

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	④興味・関心を高めるための工夫
<b>方法</b>	実生活とつながりのある事柄を取り上げた単元名・教材名，目標，学習活動

第1学年 案内文・報告文			
	単元名・教材名	目標	学習活動
東書	○ 伝統文化に触れる ・「案内や報告の文章を書こう」	○ 必要な情報を選び出し，分かりやすい構成でまとめる。	○ 保護者に宛てた合唱祭の案内状を書く活動や合唱祭の結果を学年便りに掲載するつもりで報告の記事を書く活動を取り上げている。
学図	○ 伝統一時を超えて ・「隠れた世界を知る」	○ 身近な出来事を報道文で伝える。	○ 運動会や文化祭などの学校行事で，自分が見ていないところで友達がどのような仕事をしてたかを取材し，記事に書く活動を取り上げている。
三省堂	○ 情報を読み解く ・「目的や相手に応じて，情報を編集する」	○ 目的と相手を明確にして集めた情報を分類・整理して，わかりやすく構成する。 ○ 文章を読み返し，表記や表現の仕方などを確かめて，相手にとって必要な情報が正しくわかりやすく伝わるものにする。	○ 学校の様々な行事を案内する行事を案内するリーフレットを書く活動を取り上げている。
教出	○ 表現に立ち止まる ・「行事などの案内文を書く」	○ 行事の案内文に必要な内容や構成を理解する。 ○ 「推敲のポイント」に従って文章を推敲する。	○ 町内会に宛てた合唱発表会の案内状を書く活動を取り上げている。
光村	○ つながりの中で ・「調べたことを報告しよう」	○ 課題に合わせて，集めた材料を整理する。 ○ 調べた内容がわかりやすく伝わるように，構成に沿って文章にまとめる。	○ 言葉について，調べてみたい課題を日常生活の中から探し，調査してわかったことをレポートにまとめて報告する活動を取り上げている。

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	⑤問題解決的な学習を実施するための工夫
<b>方法</b>	単元名・教材名, 目標, 学習過程, 意見文の例

第2学年 意見文・主張文				
	単元名・教材名	目標	学習過程	意見文の例
東書	○ 説得力を高める ・「反対意見を想定して書こう」	○ 自分の立場を明確にして, 分かりやすい構成で意見文を書く。 ○ 意見が効果的に伝わるように, 根拠を具体的に記述したり, 他の立場への反論を盛り込んだりする。	○ 的確な反論を考える練習をする。 ○ 自分の立場を決め, 根拠を考える。 ○ 反対の主張の根拠を予想し, 反論を考える。 ・ 反対の主張の根拠をいくつか考える。 ・ 予想される相手の根拠に対して, 反論を考える。 ○ 自分側の根拠を再検討する。 ・ 反論を予想し, 根拠を練り直す。 ○ 意見文を書く。 ・ 分かりやすい文章構成でまとめる。 ○ 完成した意見文を読み合う。 ・ 内容や構成について, 意見を述べたり助言をしたりする。	「活字メディアの方が映像メディアより役立っている」
学図	○ 伝統一時の中で ・「意見文を書こう」	○ 意見を効果的に述べる文章の作り方を知る。	○ 題材を見つける。 ・ 題材選びカードを用いて自分の困っていることや問題だと思っていることを書き出す。 ・ 困っていることや問題に思っていることの原因を簡潔に書く。 ・ 友達と話しても解決しないものなどを「題材」に選ぶ。 ○ 意見の組み立てを考える。 ・ 意見・主張を決める。 ・ 組み立てを決める。 ○ 意見文を書く。 ○ 書いた文章を読み合う。 ・ 友達と交換し, 意見や感想を述べる。	『言葉遣い』は『心遣い』
三省堂	○ 視野を広げる ・「推論と対話で考えを広げる」	○ 自分の立場や考えとともに, それを支える事実や事柄を明らかにして, 文章の構成を工夫する。 ○ 書いた文章を読み合い, 互いの主張や表現の仕方について意見を交流して, 自分の考えを広げる。	○ 行動の理由を推論する。 ・ 災害が起こった状況を仮定し, その状況下における人々の行動について, 誰の行動を支持するか, もしくは支持しないかを考え, メモする。 ○ 対話によって, 考えを広げる。 ・ メモをもとに, 互いの考えをグループやクラスで交流する。 ○ 主張文を書く。 ・ 条件に応じて主張文を書く。 ○ 主張文を読み合う。 ・ 完成した主張文を読み合い, 感想や意見を付箋やカードに書き出して交流する。 ○ 学習を振り返る。	「災害時における行動について」
教出	○ 自己と対話する ・「四コマ漫画から意見文を書く」	○ 複数の考え方が問題について, 意見文を書く。 ○ 自分の主張の根拠を示して, 文章を書く。	○ 四コマ漫画を読んで, 自分の「課題」をつくる。 ・ みんなで話し合い, よい「課題」を探す。 ○ 根拠(事実)をもとに, 主張を明確にする。 ・ 主張の根拠となる事実をあげる。 ○ 効果的に伝えるための文章構成を決める。 ・ 「頭括型」「尾括型」「双括型」から選んで書く。 ○ 自分の決めた立場と構成で, 文章を書く。 ○ 文章を読み返し, 推敲する。 ○ 友達の文章を読んで質問し合い, 考えを深め合う。	「手紙を書くときには, 手書きのほうがよい」
光村	○ 論理を捉えて ・「根拠を明確にして意見文を書こう」	○ 社会生活の中から課題を決めて, 情報を集め, 自分の意見をもつ。 ○ 自分の意見とその根拠を明確にして, 文章構成を工夫して書く。	○ 課題を決める。 ・ 環境問題について体験や見聞したことを振り返ったり, 様々なメディアを通して知ったりしたことから課題を選ぶ。 ○ 意見と根拠を明らかにする。 ・ 情報を集め, 自分の意見を決める。 ・ 意見を支える根拠を絞る。 ・ 反論を想定し, 意見を深める。 ○ 構成を考え, 意見文にまとめる。 ・ 構成メモを作って考える。 ○ 意見文を読み合って助言し合う。 ・ 観点を決め, 良い点, 改善点を話し合う。	「リサイクルの問題は地球規模で考えるべき」



<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	⑥見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための活動の工夫
<b>方法</b>	単元名・教材名、目標、学習過程、見通しを立てさせるための資料等

第3学年 批評文				
	単元名・教材名	目標	学習過程	資料等
東書	○ 多面的に検討する ・「観察・分析して論じよう 批評文」	○ 批評の対象について、観察・分析したり、比較したりして、自分なりの判断を下す。 ○ 論の進め方を工夫し、資料を参考にしたり引用したりして、説得力のある批評文を書く。 ○ 書いた批評文を読み合って評価し、ものの見方や考え方を深める。	①観察の練習をする ②批評の対象について知る ③対象を観察・分析する ④対象を比較し、判断を下す ⑤批評文を書く ⑥読み合って評価する ○ 学習を振り返ろう ・批評の対象について、観察・分析したり、比較したりして、自分なりの判断を下したか。 ・論の進め方を工夫し、資料を参考にしたり引用したりして、説得力のある批評文を書いたか。 ・書いた批評文を読み合って評価し、ものの見方や考え方を深めたか。	・批評の対象例 (ロゴ、ポスター、広報) ・観察・分析のメモの例 ・批評文例 (ポスター)
学図	○ 生命一命の共鳴 ・「批評する言葉 批評文を書く」	○ 本の魅力を伝えよう	○ 批評の文章を書く ①作品を選ぶ ②グループを作る ③作品を読む ④グループで話し合う ⑤話し合いの感想をまとめる ⑥話し合ったことを発表し合う ⑦批評文を書く ⑧感想を交流する ○ 学習を振り返る ・作品を「批評」するためにどういうことが大切か、学習を振り返って、みんなで話し合ってみましょう。	・批評文例 (詩)
三省堂	○ 情報を読み解く ・「観察や分析をとおして、判断する」	○ 取材や分析をとおして課題に対する自分の立場や考えを定め、論理展開が明解な文章構成を工夫して書く。 ○ 書いた文章を互いに評価し合うことによって、表現をよりよいものに高め、ものの見方や考え方を深める。	①課題を設定する ②対象を観察し、分析する ③判断と評価を行い、下書きをする ④判断や評価の根拠を補強する ⑤批評文を書く ⑥交流する ○ 学習を振り返る ・目標をもう一度確認しながら学習を振り返り、学んだことや気づいたことをノートにメモしておきましょう。	・批評文の課題例 (成人年齢、富士山入山料、ヒット曲) ・比較・分析する例 (コミュニケーション手段) ・批評文例 (コミュニケーション手段)
教出	○ 言葉を探る ・「広告を批評する」	○ 広告を比較して、批評文を書く。 ○ 効果的な構成について自分の考えを深める。	○ 活動の流れにそって学ぼう ①広告のコピーを比較し、自分の考えをもつ。 ②自分の意見を効果的に伝えるために、構成を考える。 ③選んだ構成にそって文章を書く。 ④構成や言葉づかいなどに注意して、推敲する。 ⑤文章を読み合い、構成や表現の工夫について話し合う。 ○ 振り返り ・広告を比較して、批評文を書く。 ・効果的な構成について自分の考えを深める。	・キャッチコピー例 (広告) ・批評文例 (広告)
光村	○ 論旨を捉えて ・「説得力のある文章を書こう 批評文を書く」	○ 社会生活の中から関心のある事柄を決め、観点を立てて分析し、考えを深める。 ○ 論理の展開や表現のしかたを工夫し、説得力のある文章を書く。	①批評文について知る。 ②関心のある事柄を選ぶ。 ③観点を立てて分析する。 ④論理の展開を考える。 ⑤下書きをして文章にまとめる。 ⑥文章を読み合い、考えを深める。 ○ 学習を振り返る ・どのような点に注意して情報を分析したか。 ・どのような工夫をして文章にまとめたか。	・キャッチコピー例 (広告) ・批評文例 (広告) ・批評文の課題例 (公共施設のマーク、スポーツ中継、地域の問題、著名な人物、音楽)

【国語】

<b>観点</b>	<b>(ウ) 内容の構成・配列・分量</b>
<b>視点</b>	⑦単元・教材等の配列
<b>方法</b>	配列の特徴，総単元数，三領域一事項ごとのページ数

	配列の特徴	本文中の総単元数・ページ数				
		学 年	1	2	3	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文、「基礎編」「資料編」の3部からなる。</li> <li>○ 各単元は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域を関連させたものと「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の内『言葉の特徴やきまりに関する事項』『漢字に関する事項』で構成している。</li> <li>○ 古典教材は，全学年，第5単元に配列している。</li> <li>○ 基礎編は，「学びを支える言葉の力」「文法解説」で構成している。</li> <li>○ 資料編は，「読むこと」「古典」「話すこと・聞くこと/書くこと」「言葉の資料」で構成している。</li> </ul>	総単元数	7	7	7	
		領域ごとのページ数	話すこと・聞くこと	17	15	18
			書くこと	29	30	25
			読むこと	111	112	122
			伝統的な言語文化	24	28	22
			言葉の特徴やきまり・漢字	23	21	24
学 図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文、「言語の学習」「日本文学の流れ」「口語・文語活用対照表」の4部からなる。</li> <li>○ 各単元は，「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域を関連させたものと「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の内『言葉の特徴やきまりに関する事項』『漢字に関する事項』で構成している。</li> <li>○ 古典教材は，全学年，第4単元に配列している。</li> <li>○ 「読むこと」の学習は，第一教材・第二教材・選択教材の段階を踏んで構成している。</li> </ul>	総単元数	5	5	5	
		領域ごとのページ数	話すこと・聞くこと	12	15	18
			書くこと	12	23	15
			読むこと	195	183	180
			伝統的な言語文化	30	26	36
			言葉の特徴やきまり・漢字	30	30	25
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文と「資料編」の2部からなる。</li> <li>○ 各単元は，「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域を関連させたものと「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の内『言葉の特徴やきまりに関する事項』『漢字に関する事項』で構成している。</li> <li>○ 古典教材は，全学年，第3単元に配列している。</li> <li>○ 「読むこと」の学習は，教材の後に「読み方を学ぼう」を配列している。</li> <li>○ 「資料編」は，「読書の広場」「考える広場」「参考資料」で構成している。</li> </ul>	総単元数	7	7	6	
		領域ごとのページ数	話すこと・聞くこと	25	16	22
			書くこと	28	16	19
			読むこと	97	115	111
			伝統的な言語文化	22	30	24
			言葉の特徴やきまり・漢字	27	20	16
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文と資料編の2部からなる。</li> <li>○ 各単元は，「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域を関連させたものと「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の内『言葉の特徴やきまりに関する事項』『漢字に関する事項』で構成している。</li> <li>○ 古典教材は，全学年で第5単元に配列し，単元末に「読むこと」を含んでいる。</li> <li>○ 資料編は，「言葉と文法 解説編」「漢字」「言葉の自習室」の3部と「領域別教材目標一覧」「学びのチャレンジ」などで構成している。</li> </ul>	総単元数	8	8	7	
		領域ごとのページ数	話すこと・聞くこと	11	11	14
			書くこと	15	16	11
			読むこと	124	136	137
			伝統的な言語文化	24	28	28
			言葉の特徴やきまり・漢字	17	22	17
光 村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第2・3学年は，本文と「文法」「漢字に親しもう」「学習を広げる」の4部からなり，第1学年は「言葉に出会うために」を加えた5部からなる。</li> <li>○ 各単元は，「読むこと」に絞ったものが各学年1単元，それ以外は，複数領域を関連させた単元である。</li> <li>○ 古典教材は，全学年で第5単元に配列している。</li> <li>○ 「学習を広げる」は，「資料」「付録」「索引」で構成している。</li> </ul>	総単元数	7	7	7	
		領域ごとのページ数	話すこと・聞くこと	19	17	17
			書くこと	34	27	18
			読むこと	118	126	113
			伝統的な言語文化	23	22	23
			言葉の特徴やきまり・漢字	27	28	25

【国語】

<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑧発展的な学習に関する内容の記述
<b>方法</b>	発展的な学習の示し方, 種類, 教材名, 教材数, ページ数

		第3学年			
		発展的な学習の示し方	種類	教材名, 教材数	ページ数
東 書	○ 巻末の「資料編」に読み比べたり読み広げたりできる教材や, 学習に関わる資料等を掲載している。	文学的な文章 説明的な文章		「風の唄」など2	19
		伝統的な言語文化		「恋の歌」など4 〔発展〕 古典の文法	10
		その他		「日本文学史年表」など10	19
学 図	○ 本文の「読むこと」の学習の第一教材・第二教材に続いて, 選択教材を載せている。 ○ 〔発展〕と印のある資料を巻末に掲載している。	文学的な文章 説明的な文章		「Water」など4	40
		伝統的な言語文化		〔発展〕「古典に親しむために—古典文法」など2	8
		その他		「日本文学の流れ」 「口語・文語活用対照表」	2 折込
三省堂	○ 巻末の「資料編」に, 読み比べたり読み広げたりできる教材や, 学習に関わる資料等を掲載している。	文学的な文章 説明的な文章		「小さな図書館」など3	16
		伝統的な言語文化		「能・狂言の世界」など2	8
		その他		「近世の短詩」など8 「読み方を学ぼう—一覧」	28 折込
教 出	○ 巻末の「言葉の自習室」に, 読み比べたり読み広げたりできる教材や, 学習に関わる資料等を掲載している。	文学的な文章 説明的な文章		「素顔同盟」など5	25
		伝統的な言語文化		「古典の歌, 現代の歌」など3 〔発展〕「文語文法活用表」など5	7 折込
		その他		「学びのチャレンジ」など9	16
光 村	○ 巻末の「学習を広げる」に, 読み比べたり読み広げたりできる教材や, 学習に関わる資料等を掲載している。	文学的な文章 説明的な文章		「温かいスープ」など3	18
		伝統的な言語文化		「古典芸能の世界—歌舞伎・浄瑠璃」など3	10
		その他		「発想を広げる—表現テーマ例」など5	12

【国語】

<b>観点</b>	<b>(エ) 内容の表現・表記</b>
<b>視点</b>	⑨ 巻末資料の示し方
<b>方法</b>	巻末資料の示し方と内容及びページ数

	巻末資料の示し方	内容（第1学年）	ページ数
東書	○ 「基礎編」「資料編」として全学年に示している。	○ 「学びを支える言葉の力」	18
		○ 「文法解説」	17
		○ 「学習を始める前に」	5
		○ 「そこに僕はいた」「『常識』は変化する」等	15
		○ 「さまざま古典作品」	4
		○ 「話すこと・書くこと題材例」等	9
		○ 「言葉を広げよう」「学習用語一覧」	5
		○ 「新出漢字一覧」「新出音訓一覧」等	25
		○ 「言葉の力一覧」	2
学図	○ 「言語の学習」「日本文学の流れ」「口語・文語活用対照表」として全学年に示している。	○ 「一年生の文法の学習」	7
		○ 「一年生の語句・語彙の学習」	8
		○ 「古典に親しむために-古典文法」	3
		○ 「今に伝わる注意したい古語」	5
		○ 「注意すべき筆順」	1
		○ 「常用漢字表・常用漢字表の付表」	17
		○ 「日本文学の流れ」	2
		○ 「口語・文語活用対照表」	折込
三省堂	○ 「読書の広場」「考える広場」「参考資料」として全学年に示している。	○ 「読書ガイダンス」	10
		○ 「見て楽しむ」	2
		○ 「声に出して読む」	4
		○ 「古典を楽しむ」	6
		○ 「読む力を伸ばそう」	10
		○ 「学ぶ力を高めよう」	13
		○ 「参考資料」（「数字の書き表し方」等）	48
		○ 「読み方を学ぼう」	折込
教出	○ 「言葉と文法(解説編)」・「漢字」並びに「言葉の自習室」として全学年に示している。	○ 「言葉(解説)」	9
		○ 「文法(解説)」	18
		○ 「漢字」	38
		○ 「言葉の自習室」（「花の詩画集」等）	46
		○ 「領域別教材目標一覧」	2
		○ 「学びのチャレンジ」	7
		○ 「理解や表現に役立つ言葉」等	2
		○ 「小倉百人一首」等	折込
光村	○ 「文法」「漢字に親しもう」「学習を広げる」として全学年に示している。	○ 「文法」	17
		○ 「漢字に親しもう」	6
		○ 「資料」（「坊っちゃん」等）	32
		○ 「付録」（「一年生で学習した漢字」等）	30
		○ 「索引」	1
		○ 「文学的な文章を読むために」「説明的な文章を読むために」	折込

【国語】

<b>視点</b>	<b>(エ) 内容の表現・表記</b>
<b>視点</b>	⑩ 本文記述と関連付けがなされた図表等
<b>方法</b>	文章の内容理解に関連した図表等の挿入がある教材名, ページ数, 目標, 図表等の種類

第 1 学年 説明的な文章				
	教材名	ページ数	目標	図表等の種類(数)
東 書	話し方はどうか	5	○ 話し方について知り, 声に出して文章を読む。	絵 (2)
	オオカミを見る目	6	○ 段落の役割や段落どうしの関係に着目して文章の構成を捉え, 内容を読み取る。 ○ 筆者の文章の書き方について, 自分の考えを持つ。	絵 (3)
	スズメは本当に減っているか	8	○ 事実と筆者の考えとを読み分けながら, 文章の展開を捉える。 ○ 文章の内容や, 筆者のものの見方, 考え方について, 感想や考えを持つ。	写真 (3) 表 (1) グラフ (2) 分布図 (1)
学 図	ものづくりに生きる	6	○ 社会の中の生を考える。 ○ 展開に即して要旨を捉える。	写真 (3)
	変わる動物園	6	○ 自然と関わる生を考える。 ○ 構成に即して主張を捉える。	写真 (5)
	絵巻を読む	2	○ 絵に着目して違いを探し, 絵師が伝えようとしたことを考える。	絵 (2)
三省 堂	クジラの飲み水	6	○ 段落と段落の関係に着目しながら, 文章の展開を捉え, 内容を読み取る。 ○ 読み手にわかりやすく伝えるための, 筆者の表現の工夫を捉える。	写真 (2) グラフ (1)
	食感のオノマトペ	5	○ 図表と文章との関係に注意しながら, 事実とそれに基づく筆者の考えを読み分ける。 ○ オノマトペの意味や効果について, 自分の考えをもつ。	絵 (1) グラフ (1)
	玄関扉	6	○ 文章に示された事実と筆者の意見と理由を読み分けて, 要旨を捉える。 ○ 玄関扉の例を中心に, 文化の違いについて, 自分の考えをもつ。	絵 (3)
教 出	笑顔という魔法	5	○ 語句の意味や接続表現・文末表現をおさえ, 筆者のものの見方や考え方を捉える。 ○ 「題名」と本文の内容, 「問い」と「答え」の関係に着目して文章を読む。	絵 (2) 写真 (6)
	電子レンジの発想	4	○ 筆者の考えとその根拠に注意して, 文章の構成や展開を捉える。 ○ 筆者の説明の仕方に注意して読み, 文章の表現の仕方の工夫を捉える。	図 (2)
	言葉のゆれを考える	5	○ 筆者の考えとその根拠に注意して, 文章の構成や展開を捉える。 ○ 筆者の説明の仕方に注意して読み, 文章の表現の仕方の工夫を捉える。	グラフ (5)
	花の形に秘められたふしぎ	7	○ 筆者の考えとその根拠に注意して, 文章の構成や展開を捉える。 ○ 筆者の説明の仕方に注意して読み, 文章の表現の仕方の工夫を捉える。	写真 (5) グラフ (1) 図 (2)
光 村	ダイコンは大きな根?	4	○ 段落の役割に着目しながら, 文章の内容をとらえる。 ○ 筆者の説明のしかたの工夫について考える。	写真 (1) 図 (1)
	ちょっと立ち止まって	4	○ 段落どうしの関係に着目して, 文章の構成をとらえる。 ○ 筆者の考えをもとに, 自分のものの見方や考え方を広げる。	絵 (3)
	シカの「落ち穂拾い」 ーフィールドノート の記録から	8	○ 示されている事実と, 筆者の考えとの関係を読み取る。 ○ 筆者の考えの述べ方や, 図表の役割について自分の考えをもつ。	写真 (2) 図 (2) 表 (2) グラフ (3)
	幻の魚は生きていた	7	○ 中心となる文に着目しながら, 文章の要旨を捉える。 ○ 筆者の考えを基に, 人間の生活と生き物や環境との関係について考えを深める。	写真 (4) 表 (1)

<b>観点</b>	<b>(オ) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	㊴読書と情報活用
<b>方法</b>	読書に関わる内容及び紹介されている書籍数等，情報活用に関わる内容

	読書	情報活用	
	読書に関わる内容及び紹介されている書籍数	情報（メディア）活用に関わる内容	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年とも，本編に，読書単元「読書への招待」を設定し，それぞれ3作品を掲載している。また，単元末に書籍紹介「読書案内」を掲載している。</li> <li>○ 各学年とも，学習の手引き中に「読書案内」として書籍紹介を掲載している。</li> <li>○ 各学年とも，資料編に「読書活動を楽しもう」として読書活動に係る教材及び「本と出会おう」として書籍紹介を掲載している。</li> <li>○ 書籍紹介数 3学年合計で305冊</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年とも，本編に，情報活用に係る単元を設定し，それぞれ1作品を掲載している。また，第1，2学年には，同単元内に「情報発信」として，書く活動の教材を掲載している。</li> </ul>	
		第1学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニュースの見方を考えよう（情報活用）</li> <li>学校新聞の記事を書こう（書く活動）</li> </ul>
		第2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>「正しい」言葉は信じられるか（情報活用）</li> <li>タウン誌の記事を推敲しよう（書く活動）</li> </ul>
		第3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>いつものように新聞が届いた（情報活用）</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資料編では，第1学年に情報活用に係る教材を掲載している。</li> </ul>
		第1学年	情報の調べ方
学 図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年とも，本編に，読書単元「読書1」「読書2」を設定し，それぞれ，掲載作品に係る評論も含め，3～5作品を掲載している。また，単元末に書籍紹介「読書案内」を掲載している。</li> <li>○ 各学年とも，作品脚注に「読書に広げるために」として書籍紹介を掲載している。</li> <li>○ 書籍紹介数 3学年合計で99冊</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年とも，本編に，「情報と表現」として情報活用に係る2教材を掲載している。</li> </ul>	
		第1学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>発想をひらく・情報を集める</li> <li>見ることと読むこと</li> </ul>
		第2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報を読む・世界を編集する</li> <li>言葉で伝える 手紙とメール</li> </ul>
		第3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報を自分のものとするために</li> <li>言葉による発見</li> </ul>
三 省 堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年とも，本編に，読書単元において，1作品及び読書活動に係る教材を掲載している。</li> <li>○ 各学年とも，学習の手引き中に，「私の本棚」として書籍紹介を掲載している。</li> <li>○ 各学年とも，資料編に「小さな図書館」として書籍紹介を掲載している。</li> <li>○ 書籍紹介数 3学年合計で289冊</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年とも，本編に情報活用に係る単元を設定し，それぞれ1作品掲載するとともに，同単元内に書く活動等の教材を掲載している。</li> </ul>	
		第1学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>食感のオノマトペ</li> <li>目的や相手に応じて情報を編集する</li> </ul>
		第2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間はほかの星に住むことができるのか</li> <li>資料や機器を効果的に活用する</li> </ul>
		第3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報社会を生きるーメディアリテラシー</li> <li>観察や分析をとおして，判断する</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年とも，資料編に「情報探しのヒント」「情報活用のヒント」として，情報活用に係る教材を掲載している。</li> </ul>
		第1学年	情報探しのヒント
		第2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報探しのヒント</li> <li>情報活用のヒント</li> </ul>
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報探しのヒント</li> <li>情報活用のヒント</li> </ul>		

【国語】

教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年とも、本編に、読書単元「読書への招待」として、それぞれ2作品とともに、読書活動に係る教材及び単元末の書籍紹介「本の世界へ」を掲載している。</li> <li>○ 各学年とも、学習の手引き中に、「読んでみよう」「本の世界へ」として書籍紹介を掲載している。</li> <li>○ 各学年とも、資料編に読書活動に係る教材及び「各学年のための読書案内」として書籍紹介を掲載している。</li> <li>○ 書籍紹介数 3学年合計で260冊</li> </ul>	○ 各学年とも、本編に、情報活用に係る単元を設定し、それぞれ1作品掲載している。		
		第1学年	メディア 写真と言葉が生み出す世界ーメディアリテラシー入門ー	
		第2学年	メディア 物語を読み解くーメディアの解釈ー	
		第3学年	メディア 情報を編集するしかけーメディアにひそむ意図ー	
		○ 各学年とも、資料編に、情報活用に係る教材を掲載している。		
		第1学年	メディアと情報 瞬間を切り取る	
		第2学年	インターネット利用上の注意点 3つのCと3つのS	
		第3学年	見つめる新聞広告 江戸時代のメディア戦略	
		光 村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年とも、本編に、読書単元「読書生活を豊かに」「読書に親しむ」を設定し、それぞれ2作品とともに、読書活動に係る教材及び単元末の書籍紹介「本の世界を広げよう」を掲載している。</li> <li>○ 各学年とも、作品脚注に「広がる読書」として書籍紹介を掲載している。</li> <li>○ 資料編では、1年生に読書感想文の書き方に係る教材を掲載している。</li> <li>○ 書籍紹介数 3学年合計で243冊</li> </ul>	○ 各学年とも、本編に情報活用に係る教材を掲載している。
				第1学年
情報コラム①本から情報を集める				
情報コラム②インターネットを利用する				
情報コラム③新聞の紙面構成の特徴を知る				
第2学年	メディアと上手に付き合うために 池上彰			
	いろいろなメディアから得た情報を 比べよう			
	情報コラム 著作権について知る			
第3学年	「想いのリレー」に加わろう			
	「情報発信」について考えよう			
○ 資料編には、第1、2学年に情報活用に係る教材を掲載している。				
第1学年	情報を集める いろいろな通信文			
第2学年	新聞記事を比べよう			

【国語】

<b>観点</b>	<b>(オ) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑫言語活動の種類
<b>方法</b>	学習指導要領に示された言語活動例に関わる内容の記述

	第2学年 「話すこと・聞くこと」	第2学年 「書くこと」
	社会生活の中的话题について、司会や提案者などを立てて討論を行う活動 (○ 教材名, ● 目標)	表現の仕方を工夫して、詩歌をつくったり物語などを書いたりする活動 (○ 教材名, ● 目標)
<b>東 書</b>	○ 話し合いで問題を検討しよう リンクマップによる話し合い ● さまざまなメディアを使って討論のテーマを決め、メリットとデメリットを出し合う。 ● テーマについて話し合って検討し、意見をまとめる。	○ 短歌のリズムで表現しよう ● 自然や体験の描き方を工夫して、短歌を作る。 ○ いきいきと描き出そう 短歌から始まる物語 ● 情景や心情などをいきいきと表すように、描写を工夫して物語を作る。 ● 書いた物語を読み合って、材料の活用の仕方などについて意見を交換し、自分の考えを広げる。
<b>学 図</b>	○ 対立した立場で意見を深める ディベートによる討論 ● 意見を深める方法を知り、実践する。	○ 想像する言葉 物語・詩を作る ● 想像を膨らませて物語や詩を書く。
<b>三 省 堂</b>	○ 異なる立場や考えを尊重して ● 決めた話題について、取材や調査などで情報を集めて整理する。 ● 話の構成に注意して、要点を捉えたり自分の考えと比べたりしながら聞く。 ● 異なる立場や考えを尊重し、互いの発言を検討しながら話し合い、自分の考えを広げる。	○ 読みたくなるしゅみを工夫する ● 作品の魅力や特徴が効果的に伝わるように、描写や展開などを工夫して書く。 ● 作品を読み合い、表現の工夫やもとの作品の生かし方などについて意見を交流し、自分の考えを広げる。
<b>教 出</b>	○ 役割を決めて討論する ● 目的や自分の役割をふまえて、グループで討論する。 ● 相手の意見を尊重し、自分の考えを広げる。	○ 写真から物語を創作する ● 表現の仕方を工夫して、物語を創作する。 ● 描写や比喩などを用いて、心情を効果的に伝える。
<b>光 村</b>	○ 話し合って考えを広げよう パネルディスカッションをする ● 司会や提案者などの役割を決め、目的に沿って討論する。 ● 相手の立場や考えを尊重し、互いの発言を比較・検討しながら自分の考えを広げる。	○ 表現のしかたを工夫して書こう 「ある日の自分」の物語を書く ● 場面の様子や人物の気持ちが効果的に伝わるように、描写を工夫して書く。 ● 書いた文章を互いに読み合い、意見や感想を交流し、自分の表現に役立てる。